

講義・演習概要

(シラバス)

地方公会計特別研修第5期

【平成30年6月18日～平成30年6月22日】

地方公会計特別研修第5期 シラバス一覧

区分	番号	課目	担当講師	初講義日	頁
1 講義					
	1-1	地方財政における公会計の役割について	山越 伸子 総務省自治財政局財務調査課長	6月18日	1
	1-2	複式簿記の基礎について	中川 絢香 有限責任監査法人トーマツ パブリックセクター・ヘルスケア事業部 シニアスタッフ	6月18日	2
	1-3	固定資産台帳整備の更新について～2年目以降の留意事項を中心に～	矢島 淳太郎 有限責任監査法人トーマツ パブリックセクター・ヘルスケア事業部 シニアスタッフ	6月19日	3
	1-4	統一的な基準による財務書類等の作成実務について～2年目の留意事項を中心に～(演習含む)	矢島 淳太郎 有限責任監査法人トーマツ パブリックセクター・ヘルスケア事業部 シニアスタッフ	6月19日	4
	1-5	連結財務書類等の作成実務について	矢島 淳太郎 有限責任監査法人トーマツ パブリックセクター・ヘルスケア事業部 シニアスタッフ	6月20日	5
	1-6	荒川区における新公会計制度の取組み ～運用・公表・活用の実務を中心に～	根本 順 荒川区 会計管理部会計管理課長 兼 債権管理担当課長	6月20日	6
	1-7	和光市の公会計制度(予算仕訳・固定資産台帳の正本化)	山本 享兵 和光市 財政課 副主幹	6月21日	7
2 演習					
	2-1	事業別・施設別のセグメント分析	山田 達也 有限責任監査法人トーマツ パブリックセクター・ヘルスケア事業部 マネージャー	6月21日	8
	2-2	財務書類等を活用した自治体経営分析	山田 達也 有限責任監査法人トーマツ パブリックセクター・ヘルスケア事業部 マネージャー	6月22日	9

地方公会計特別研修第5期（平成30年6月18日～平成30年6月22日）

課 目 名	1-1 地方財政における公会計の役割について
時 限 数	3時限
担 当 講 師	<p>総務省自治財政局財務調査課課長 山越 伸子</p> <p><プロフィール></p> <p>平成2年3月～東京大学経済学部卒業</p> <p>平成2年4月～自治省入省</p> <p>その後、英国留学</p> <p>長崎県及び茨城県で企画、観光等を担当</p> <p>平成13年4月～千葉県船橋市福祉局長</p> <p>平成15年7月～総務省自治財政局公営企業課課長補佐兼地域企業経営企画室課長補佐</p> <p>平成17年8月～経済産業省経済協力局貿易管理部原産地証明室長</p> <p>平成18年8月～総務省自治行政局公務員部定員給与調査官</p> <p>平成20年4月～東京都オリンピック招致本部参事（国際招致担当）</p> <p>平成21年7月～東京都知事本局参事</p> <p>平成22年7月～東京都環境局環境改善部長</p> <p>平成23年8月～総務省地域力創造グループ国際室長</p> <p>平成25年4月～総務省地域力創造グループ過疎対策室長</p> <p>平成26年7月～総務省消防庁消防・救急課長</p> <p>平成28年7月～総務省地域力創造グループ地域自立応援課長</p> <p>平成29年7月～総務省自治財政局財務調査課長</p>
ね ら い	<p>地方公会計については、これまで、各地方公共団体において財務書類の作成・公表等に取り組みられてきたところだが、人口減少・少子高齢化が進展している中、財政のマネジメント強化のため、地方公会計を予算編成等に積極的に活用し、地方公共団体の限られた財源を「賢く使う」取組を行うことは極めて重要である。</p> <p>本講義では、公共施設マネジメントもあわせ、地方公会計について体系的に理解することをねらいとする。</p>
講 義 概 要	地方公会計に関するこれまでの経緯や統一的な基準の概要、活用事例を中心に、地方公会計と公共施設マネジメントにおける現状について講義を行う
受 講 上 の 注 意	
使 用 教 材	
効 果 測 定	

地方公会計特別研修第5期 (平成30年6月18日～平成30年6月22日)

課 目 名	1-2 「複式簿記の基礎について」
時 限 数	2 時限
担 当 講 師	有限責任監査法人トーマツ 公認会計士 中川 絢香 <プロフィール> 平成24年2月 監査法人トーマツ (現有限責任監査法人トーマツ) 入社 平成27年10月 公認会計士登録
ね ら い	<ul style="list-style-type: none"> ・公会計の導入にあたって必要となる複式簿記・発生主義会計の基本的な仕組みについて解説する。 ・一般的な簿記の研修にとどまらず、「今後の新地方公会計の推進に関する実務研究会」で検討されたマニュアルの趣旨を斟酌し、自治体職員にとって関わりが深い取引や勘定科目を用いた説明により、財務書類作成実務につながるような研修を目指す。 ・演習では、複式仕訳の基礎的な例題に取り組んでいただくことを通じて、複式簿記の基礎を理解する。
講 義 概 要	<p>■講義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複式簿記の意義 (会計の役割、簿記の意味・目的・役割、) ・複式簿記の概要 (単式簿記と複式簿記の違い、簿記の5要素、貸借対照表と損益計算書の関係、発生主義固有の処理、等) ・地方公会計における仕訳等 <p>■演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方自治体の業務をモデルにした複式簿記の仕訳演習・
受講上の注意	演習では、卓上計算機を使用する。
使 用 教 材	講義レジュメ 総務省「統一的な基準による地方公会計マニュアル」
効 果 測 定	なし
そ の 他 (他の課目との関連)	なし

地方公会計特別研修第5期 (平成30年6月18日～平成30年6月22日)

課 目 名	1-3 「固定資産台帳整備の更新について～2年目以降の留意事項を中心に～」
時 限 数	2 時限
担 当 講 師	有限責任監査法人トーマツ 公認会計士 矢島 淳太郎 <プロフィール> 平成24年2月 監査法人トーマツ (現有限責任監査法人トーマツ) 入社 平成27年9月 公認会計士登録
ね ら い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公会計開始後の新規取得資産や除却資産に係る固定資産台帳の更新や会計処理について、「統一的な基準による地方公会計マニュアル(「財務書類作成要領」及び「資産評価及び固定資産台帳整備の手引き」以下、マニュアルという)」に基づき、事例を交えながら解説する。 ・ 「今後の新地方公会計の推進に関する実務研究会」で検討されたマニュアル及び平成30年3月31日に公表された「地方公会計の活用の促進に関する研究会報告書」に基づき、自治体職員が固定資産台帳の更新及び公表を行う際にどのような点に留意すべきかを理解する。 ・ 演習では、固定資産の新規取得の際の取得原価の算定方法について、演習を通じて理解する。
講 義 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ■ 講義 <ul style="list-style-type: none"> ・ 固定資産台帳整備の概要 ・ 開始後の新規取得資産の計上 (開始前の固定資産台帳整備と開始後の固定資産台帳更新の相違点) ・ 固定資産の除却処理 ・ 固定資産台帳更新に係る体制整備等 ・ 固定資産台帳の公表方法 ■ 演習 <ul style="list-style-type: none"> ・ 固定資産の取得原価の算定方法
受講上の注意	演習では、卓上計算機を使用する。
使用教材	講義レジュメ 総務省「統一的な基準による地方公会計マニュアル」
効果測定	なし
そ の 他 (他の課目との関連)	なし

地方公会計特別研修第5期 (平成30年6月18日～平成30年6月22日)

課 目 名	1-4 「統一的な基準による財務書類等の作成実務について～2年目の留意事項を中心に～ (演習含む)」
時 限 数	4 時限
担 当 講 師	有限責任監査法人トーマツ 公認会計士 矢島 淳太郎 <プロフィール> 平成24年2月 監査法人トーマツ (現有限責任監査法人トーマツ) 入社 平成27年9月 公認会計士登録
ね ら い	統一的な基準による財務書類等の作成実務について「統一的な基準による地方公会計マニュアル」に基づき解説する。その内容及び作成にあたり留意すべき点について理解する。特に、作成手順の全体像を踏まえつつ、非資金仕訳など一般的に分かりづらいと考えられる箇所について、演習を通じて習得することをねらいとする。
講 義 概 要	■講義 ・「統一的な基準による地方公会計マニュアル」のポイント解説 ・財務書類等の作成手順について ・非資金取引の処理について ・財務書類作成時の留意事項について 等 ■演習 ・歳入歳出データから複式仕訳への変換 ・固定資産の取得及び売却 ・引当金の算定 ・投資及び出資金の評価 ・財務書類等間の整合性の確認方法 等
受講上の注意	演習では、卓上計算機を使用する。
使用教材	講義レジュメ 総務省「統一的な基準による地方公会計マニュアル」
効果測定	なし
そ の 他 (他の課目との関連)	なし

地方公会計特別研修第5期 (平成30年6月18日～平成30年6月22日)

課 目 名	1－5 「連結財務書類等の作成実務について」
時 限 数	3 時限
担 当 講 師	有限責任監査法人トーマツ 公認会計士 矢島 淳太郎 <プロフィール> 平成24年2月 監査法人トーマツ (現有限責任監査法人トーマツ) 入社 平成27年9月 公認会計士登録
ね ら い	連結財務書類の作成実務について「統一的な基準による地方公会計マニュアル」に基づき解説する。その内容及び作成にあたり留意すべき点について理解する。特に、連結対象団体(会計)における進め方や純計処理など、対応が難しい箇所について、演習を通じて習得することをねらいとする。
講 義 概 要	<p>■講義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連結財務書類とは ・連結対象団体 ・連結財務書類の体系 ・連結の作成手順の概要 ・法定決算書類の読替え ・法定決算書類の連結修正 ・純計処理 <p>■演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連結財務書類の基礎 ・法定決算書類の連結修正 ・純計処理 等
受講上の注意	演習では、卓上計算機を使用する。
使用教材	講義レジュメ 総務省「統一的な基準による地方公会計マニュアル」
効果測定	なし
そ の 他 (他の課目との関連)	なし

地方公会計特別研修第5期 (平成30年6月18日～平成30年6月22日)

課 目 名	1-6 荒川区における新公会計制度の取組み ～運用・公表・活用の実務を中心に～
時 限 数	1 時限
担 当 講 師	荒川区役所会計管理部会計管理課長 兼 債権管理担当課長 根 本 順 <プロフィール> 平成 2年 4月 荒川区役所入庁 平成24年 4月 福祉部介護予防担当課長 平成25年 4月 子育て支援部児童青少年課長 平成29年 4月から現職
ね ら い	荒川区では、平成28年度から、東京都方式による、日々仕訳を行う本格的な新公会計制度を導入し、それに基づき財務諸表を公表したところである。 本講義では、制度の導入から財務諸表の公表・活用までの一連の流れについて、課題や対応方法などについて学ぶことをねらいとする。
講 義 概 要	荒川区の新公会計制度は、きめ細やかな事業単位を設定し、それを組み合わせることにより、基本計画に基づく事業体系 (政策、施策など) における、各階層別等の行政評価に活用している点が主な特色となっている。 講義においては、そのような活用を行うに当たって直面した実務上の課題や、対応方法について、荒川区の事例に基づき解説する。 (主な内容) ○ 荒川区における新公会計制度導入の経緯 ○ 荒川区の新公会計制度の概要 ○ 荒川区の新公会計制度に対応した財務会計システム ○ 荒川区の新公会計制度の運用 ○ 荒川区の新公会計制度の公表・活用 ○ 荒川区における新公会計制度の今後の課題 等
受講上の注意	なし
使用教材	講義レジュメ (パワーポイント印刷資料等を予定)
効果測定	なし
そ の 他 (他の課目との関連)	なし

地方公会計特別研修第5期 (平成30年6月18日～平成30年6月22日)

課 目 名	1-7 和光市の公会計制度 (予算仕訳・固定資産台帳の正本化)
時 限 数	1 時限
担 当 講 師	和光市役所財政課副主幹 公認会計士 山本享兵 <プロフィール> 平成18年3月 横浜国立大学経営学部経営学科卒業 平成18年12月 監査法人トーマツ (現有限責任監査法人トーマツ) 入所 平成27年10月 和光市役所入庁
ね ら い	新公会計制度を活用できる仕組みとしていくためには、正しい仕訳を行い続ける仕組みや固定資産台帳の更新を適切に行い続けられる仕組みを構築することが必要であることを理解する。そのための具体的な方法論として、和光市において導入した「予算仕訳」と「固定資産台帳の正本化」の取組を学ぶ。
講 義 概 要	まず、和光市の公会計制度である「予算仕訳」(※1)を理解する前段として、複式簿記の仕組みを簡単に理解できる「付箋紙仕訳ゲーム」を行う。 「付箋紙仕訳ゲーム」を通じて、和光市の「予算仕訳」の取組の必要性を理解していただいたうえで、「予算仕訳」の具体的な実務を解説する。 地方自治法上の公有財産台帳と固定資産台帳を一体的に運用することの必要性の解説したのち、「固定資産台帳の正本化」(※2)を行った和光市における具体的な固定資産台帳の更新の仕組みを解説する。 ※1 官庁会計上の予算科目を見直し、予算科目と複式簿記の仕訳科目を一致させることで、予算段階で公会計上の仕訳を確定させる方法 ※2 公会計の固定資産台帳のデータを地方自治法上の公有財産や物品の管理台帳として活用する方法
受講上の注意	特になし
使用教材	・講義レジュメ ・演習解答用紙 ・付箋紙
効果測定	なし
そ の 他 (他の課目との関連)	なし

地方公会計特別研修第5期 (平成30年6月18日～平成30年6月22日)

課 目 名	2-1 事業別・施設別のセグメント分析 (演習含む)
時 限 数	4 時限
担 当 講 師	氏名 山田達也 <プロフィール> 平成22年1月 有限責任監査法人トーマツ 入社 平成24年12月 公認会計士 登録 平成26年6月 認定ファシリティ・マネジャー 登録
ね ら い	地方公会計の財務書類の活用の例である事業別・施設別のセグメント分析を行うためには、実務上どのように進めていく必要があるのかを理解する。また、セグメント分析のやり方を理解するとともに、演習を通じて実務の理解を深めることを目標とする。
講 義 概 要	■講義 <ul style="list-style-type: none"> ・セグメント分析の意義や役割について ・セグメント別財務書類の作成事例について ・事業別・施設別などのセグメント体系の考え方について ・セグメント別財務書類の作り方について ・地方公会計から得られる財務データと、それ以外の財務データ、非財務データを関連させた分析方法について ・セグメント分析結果の読み方について ・セグメント分析結果を分かりやすく説明する手法について ■演習 <ul style="list-style-type: none"> ・仮想団体を用いて事業別や施設別の財務書類を作成する演習を行う。 ・講義で理解したセグメント分析の読み方を、実際の事業別財務書類を題材に、演習を行う。
受 講 上 の 注 意	<ul style="list-style-type: none"> ・地方公会計特別研修の他の科目の応用であるため、それまでの講義を通じて公会計に関する理解が深まっていることが前提となる。 ・講義においては、指名をして発言を求めることがある。 ・演習では、卓上計算機を使用する。
使 用 教 材	講義レジュメ
効 果 測 定	なし
そ の 他 (他の課目との関連)	・地方公会計特別研修の他の科目の応用であるため、それまでの講義を通じて公会計に関する理解が深まっていることが前提となる。

地方公会計特別研修第5期 (平成30年6月18日～平成30年6月22日)

課 目 名	2-2 財務書類等を活用した自治体経営分析 (演習含む)
時 限 数	2時限
担 当 講 師	氏名 山田達也 <プロフィール> 平成22年1月 有限責任監査法人トーマツ 入社 平成24年12月 公認会計士 登録 平成26年6月 認定ファシリティ・マネジャー 登録
ね ら い	5日間の講義・演習のまとめとして、財務書類等をいかに自治体経営に活用していくかについて、既存の各種財政指標も含めた分析を交えながら解説する。また、演習を通じて実務の理解を深めることを目標とする。
講 義 概 要	■講義・演習 ・財政指標と財務書類に基づく自治体財政分析について
受講上の注意	演習では、卓上計算機を使用する。
使用教材	講義レジュメ
効果測定	なし
そ の 他 (他の課目との関連)	5日間の講義・演習のまとめであるため、それまでの講義を通じて公会計に関する理解が深まっていることが前提となる。

地方公会計特別研修第5期 Syllabus

作成：自治大学校教務部

〒190-8581 東京都立川市緑町10番地の1

TEL (042) 540-4502 (教務部直通)

FAX (042) 540-4505 (教務部)
